
The logo for VP Authoring Studio II. It features a red square with the white letters 'VP' inside, followed by the text 'Authoring Studio II' in a bold, dark grey font. The 'II' is in a larger, red font.

VP Authoring Studio II

Toray/GEPrint プロジェクト変換機能

【 機能説明 】

— 2.00版 —



テキスト・アンド・グラフィクス株式会社

目次

1. 概要	3
1. 1 製品構成	3
1. 2 動作環境	4
2. GEPrint/plfファイル変換	5
2. 1 変換操作	5
2. 2 変換結果の確認	7
3. レイアウトデザイナーへのインポート操作	9
3. 1 インポート操作	9
3. 2 インポート結果の確認	10

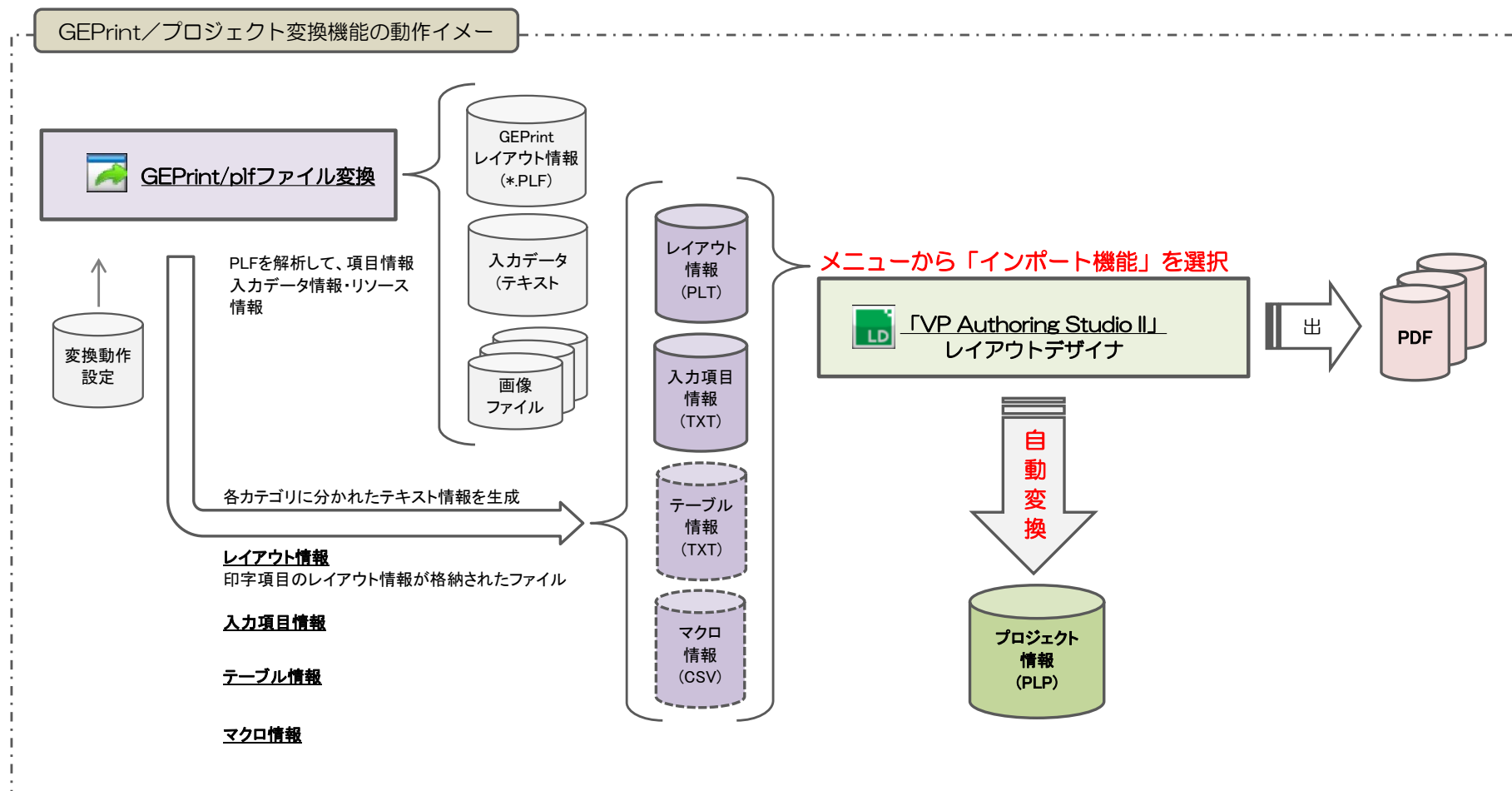
1. 概要

本機能は、東レ/GEPrintのレイアウト情報ファイル(PLFファイル)を弊社製品「VP Authoring Studio II」のプロジェクトファイルへ変換する機能です。GEPrintで作成されたPLFファイルを自動解析し、レイアウトされている項目情報、入力データ情報、リソース情報などを弊社製品で取込みが可能なテキスト情報へ変換します。変換されたテキストファイル群は弊社製品のインポート機能でプロジェクトファイルへ自動構築することができます。

1. 1 製品構成

本機能は、GEPrintのレイアウト情報をテキスト情報へ変換する専用ツール「GEPrint/plfファイル変換」、および弊社製品「VP Authoring Studio II」の「レイアウトデザイナー」の2つの製品で構成されます。

以下に、各製品の動作イメージを示します。



1.2 動作環境

本機能で使用する製品の動作環境は以下のようになります。

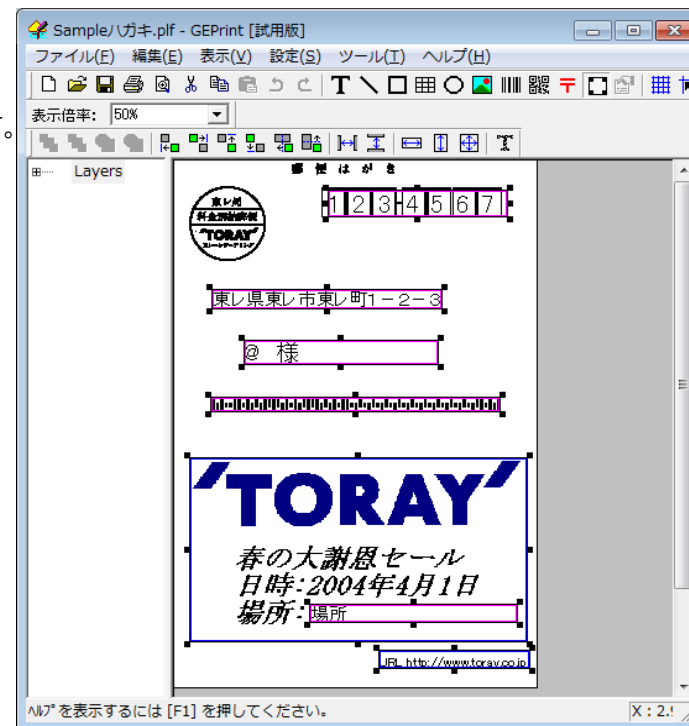
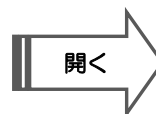
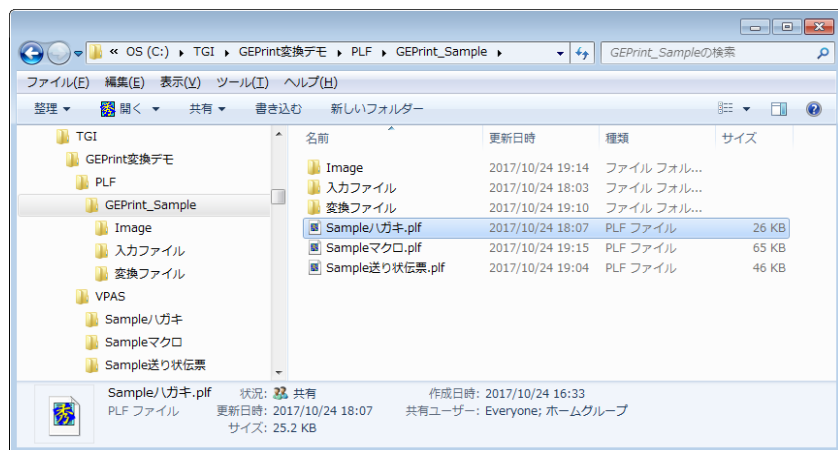
動作環境	
プロセッサ	マルチコアプロセッサ(3GHz以上)を推奨
実装メモリ	32bit動作の場合は4GB、64bit動作の場合は8GB以上を推奨
OS	WindowsXP、Windows7(32/64bit)、Windows8.1、Windows10
.NET Framework	32bit動作の場合は.NET 3.5、64bit動作の場合は.NET 3.5+.NET4.0がインストールされていること
HDD	50GB以上の空き容量を推奨
モニタ	WXGA(1280×768)以上の解像度が必要
表示ソフト	Adobe Acrobat/Reader
その他	USBポート ※ハードウェアキー装着用

2. GEPrint/plfファイル変換

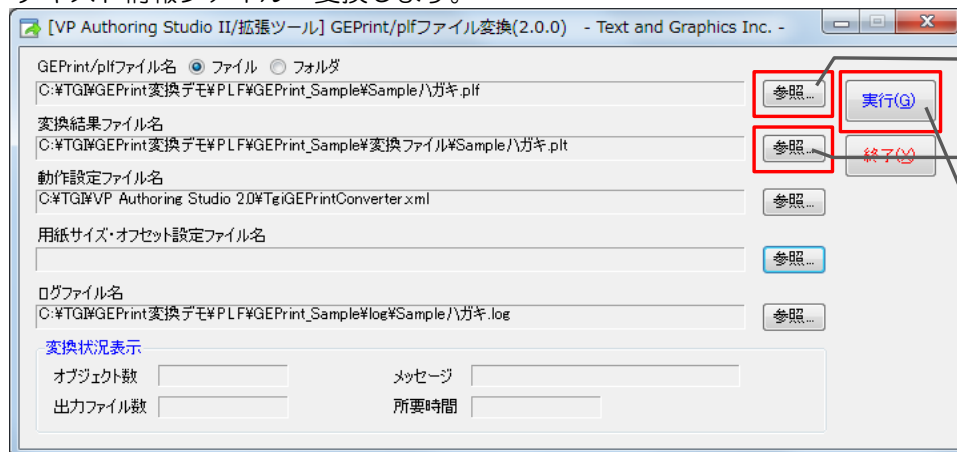
「GEPrint/plfファイル変換」について説明します。このツールは、GEPrintのplfファイル変換専用が開発されたツールです。Plfファイルを読み込みレイアウト情報を自動解析して、各カテゴリのテキスト情報ファイルを生成します。生成されたテキスト情報ファイルは弊社製品「VP Authoring Studio II」のレイアウトデザイナーソフトでインポートすることが可能な形式となります。

2. 1 変換操作

GEPrintのサンプルに格納されているハガキのplfファイルを変換する操作を説明します。以下の「sampleハガキ」をGEPrintで開くと右のようなレイアウトになっています。



「GEPrint/plfファイル変換」ツールを起動してこの「sampleハガキ」のplfをテキスト情報ファイルへ変換します。



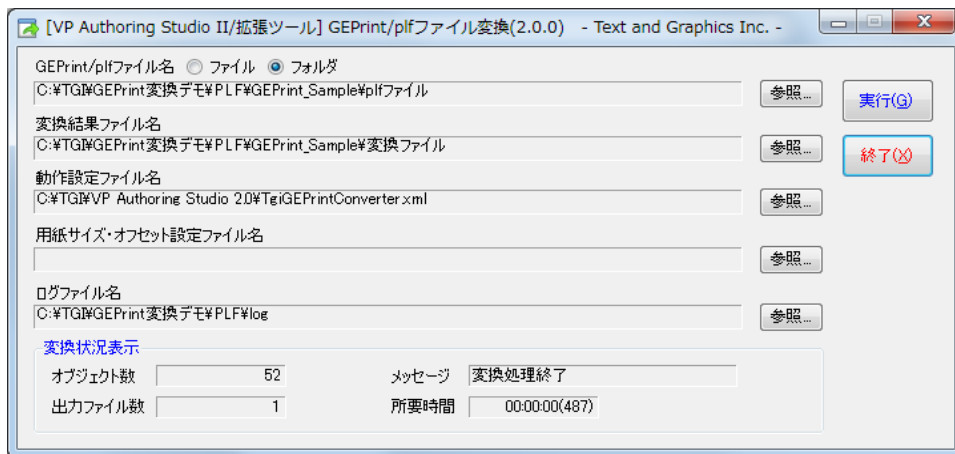
生成されるテキスト情報ファイルを格納するフォルダを選択します

変換を行うplfファイルを選択します

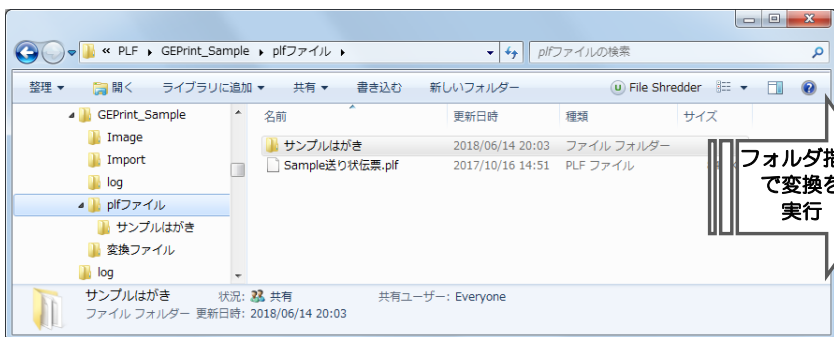
変換を実行します

●フォルダ指定について

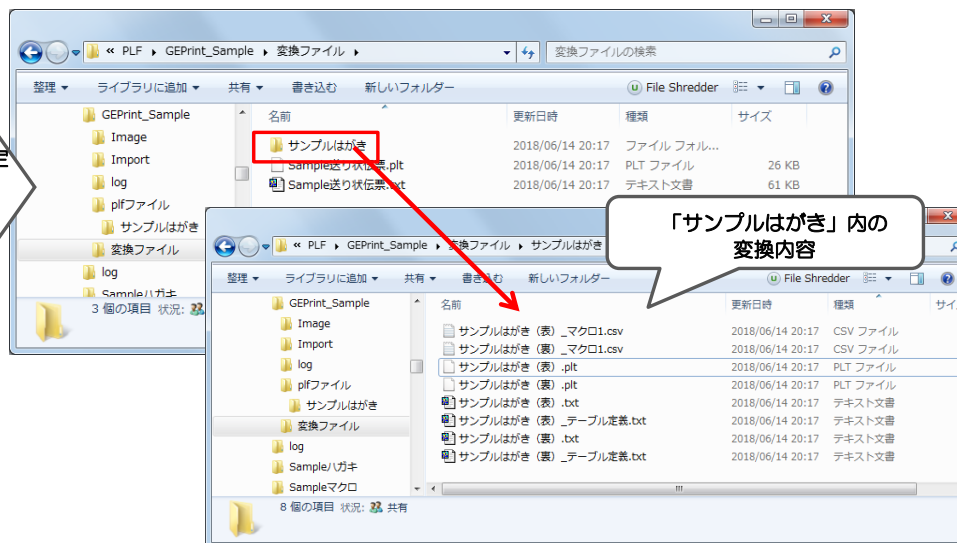
plfファイルはフォルダに取り纏めて一括変換も可能です。
 選択したフォルダ内の配下にあるファイルと直下のフォルダを一括で変換します。
 出力先のフォルダには同じフォルダ構成でpltファイルへ変換されます。



●参照フォルダ「plfファイル」の内容



●変換先フォルダ「変換ファイル」の内容



2. 2 変換結果の確認

The screenshot shows the GEPrint conversion tool interface on the left and a file explorer on the right. The tool interface has several input fields for file names and a '変換状況表示' (Conversion Status Display) section. The file explorer shows a directory structure with various files, including PLT files and text files.

変換状況表示

オブジェクト数: 8
出力ファイル数: 1

メッセージ: 変換処理終了
所要時間: 00:00:01(065)

生成されたテキスト情報ファイル

変換されたレイアウト項目数が表示されます

変換されたpltファイル数が表示されます

※複数のレイヤーをもつplfの場合は「動作設定」の切り替えにより1ページに結合して変換するか複数のページに分割して変換するかの選択が可能です。複数のページに分割した場合は出力ファイル数は分割ページ数となります。

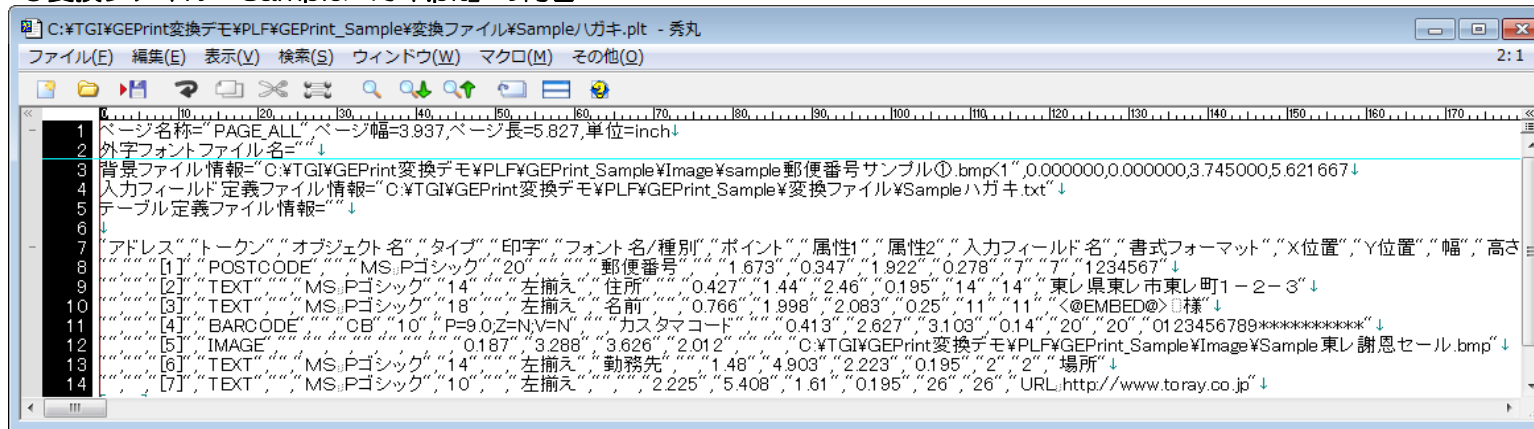
●用紙サイズ、オフセット設定ファイル名について

用紙サイズ、オフセット設定ファイルはCSVファイル形式で、レイアウトファイル名に対してページ幅 (inch)、ページ高さ (inch)、オフセットX・Yを指定することで設定した内容でページサイズとオブジェクト位置を変更することが可能で以下は設定見本となります。

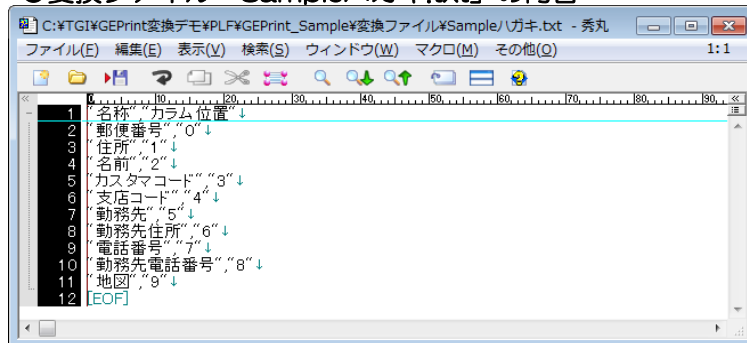
The screenshot shows a CSV file named '帳票サイズ_オフセット一覧.csv'. The file contains the following data:

レイアウトファイル名	ページ幅 (inch)	ページ高さ (inch)	オフセットX	オフセットY
Sample\ガキ.plf	3.937	5.827	0.2	0.3
Sample送り状伝票.plt	8	20	0.1	0.1

●変換ファイル「Sampleハガキ.plt」の内容



●変換ファイル「Sampleハガキ.txt」の内容



3. レイアウトデザイナーへのインポート操作

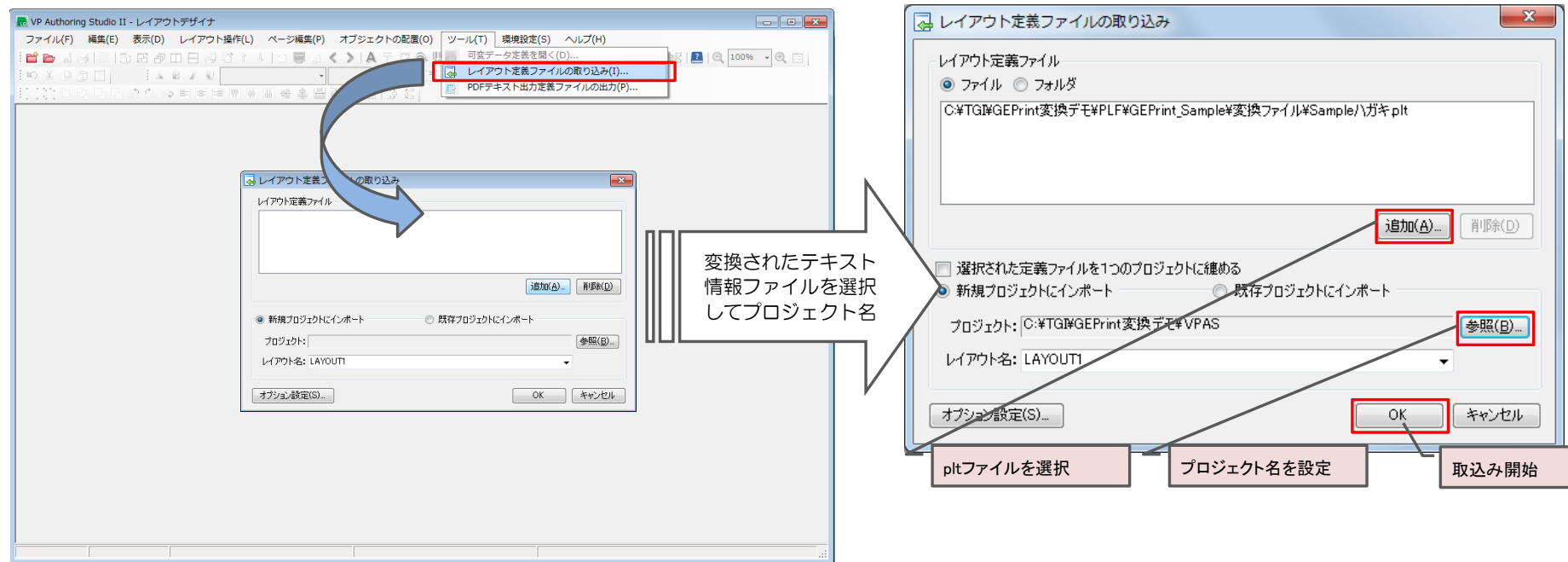
「GEPrint/plfファイル変換」ツールにて生成されたテキスト情報ファイルを取り込んで弊社製品「VP Authoring Studio II」のレイアウトデザイナーソフトで読み込むことができるプロジェクトファイルへ変換します。変換後のプロジェクトは弊社製品のレイアウトデザイナーでレイアウト変更等が可能となります。

3. 1 インポート操作

レイアウトデザイナーを起動して「ツール」メニューの「レイアウト定義情報ファイルの取り込み」を選択します。

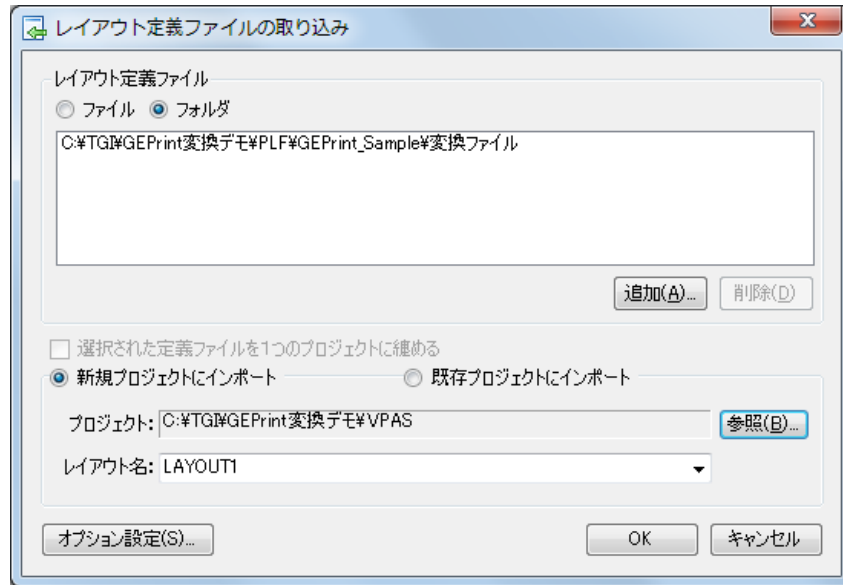
レイアウト定義ファイルは複数選択可能です。

“定義ファイル単位にプロジェクト作成”をチェックONにすると選択した定義ファイル分のプロジェクトを作成できます。

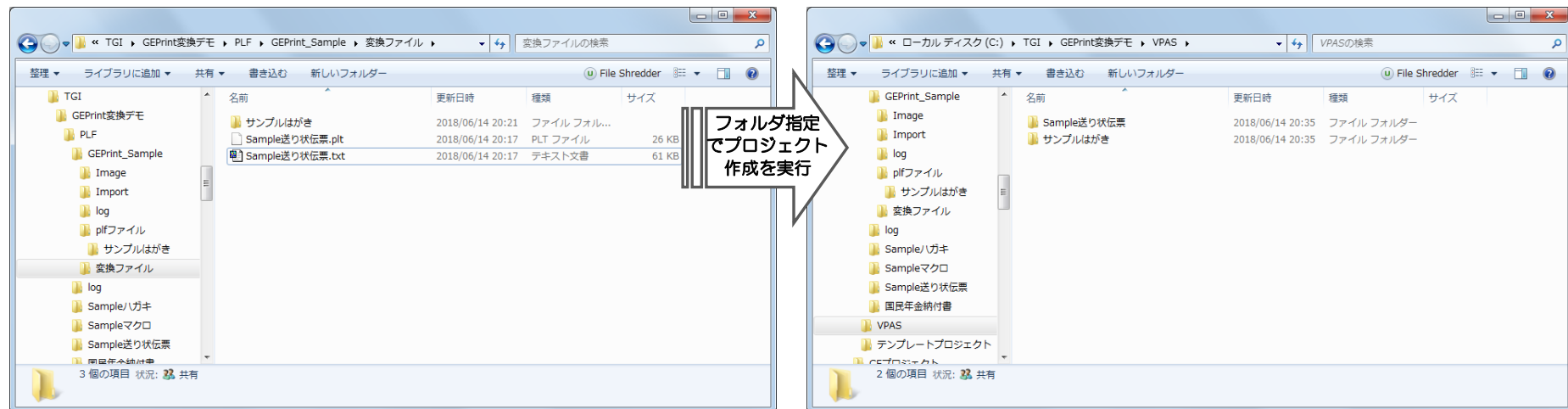


●フォルダ指定について

レイアウト定義ファイルはフォルダに取り纏めて一括作成も可能です。
 選択したフォルダ内の配下にあるファイルと直下のフォルダを一括でプロジェクト作成します。
 直下に配置したフォルダ内にあるレイアウト定義ファイルは1つのプロジェクトとして作成されます。
 出力先のフォルダには同じフォルダ構成でプロジェクト作成されます。

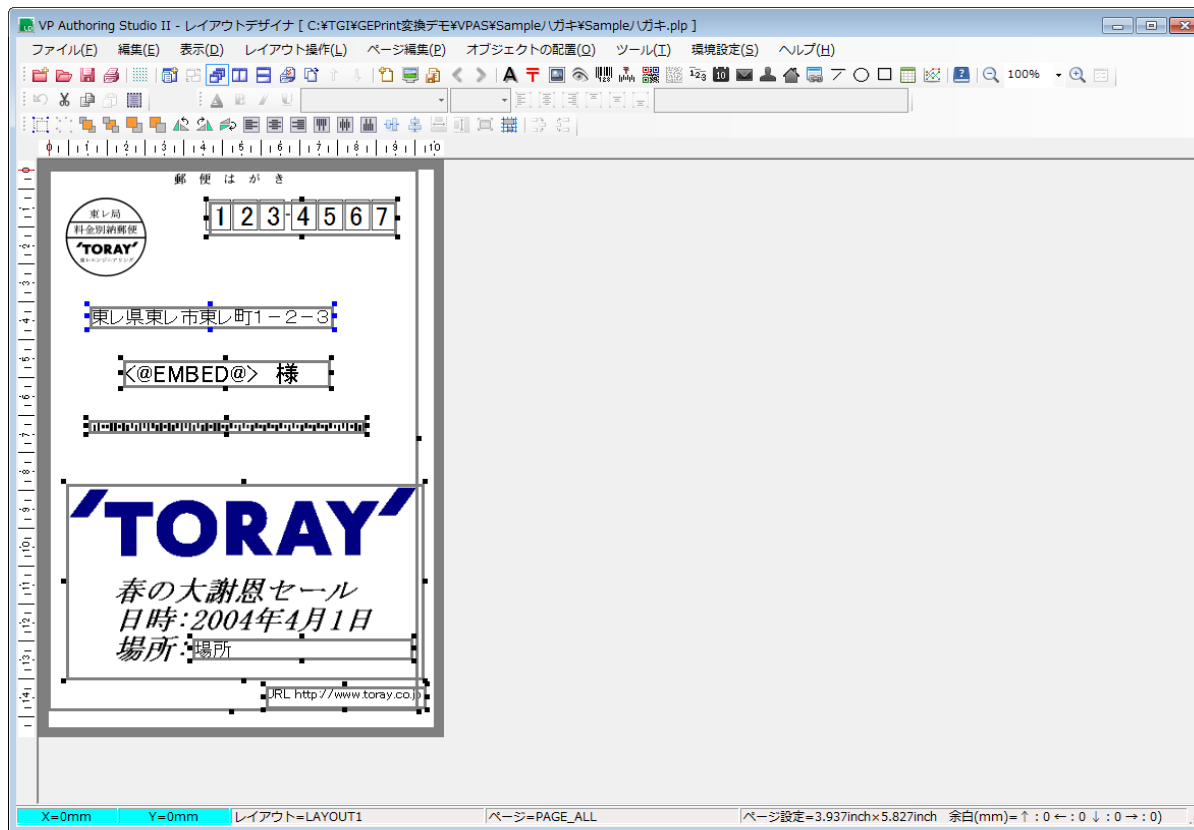


●選択フォルダ「変換ファイル」の内容



3. 2 インポート結果の確認

GEPrintでレイアウトされていた項目が正常に変換されているかを確認します。



プロジェクトフォルダには以下のフォルダが参照しているファイルに応じて自動で作成されます。

- 入力ファイル：参照している入力ファイルが格納されるフォルダになります
- 参照ファイル：外字ファイルが格納されるフォルダになります
- テーブル：マクロ定義情報が格納されるフォルダになります
- 画像ファイル：参照している画像ファイルが格納されるフォルダになります

